

第五次環境にやさしい郡山市率先行動計画 実績報告

1 第五次環境にやさしい郡山市率先行動計画の概要（2018（平成30）年3月策定）

- **温室効果ガス排出量の削減目標**
2020年度までに温室効果ガス排出量を2013年度比**16%以上削減**する。
- **省エネルギーの取組目標**
2020年度までにエネルギー原単位を2013年度比**7%以上削減**する。
- **水道使用量の削減目標**
2020年度までに水道使用量を2013年度比**7%以上削減**する。
- **グリーン購入の取組目標**
調達方針を毎年定め、環境物品等の調達を推進する。

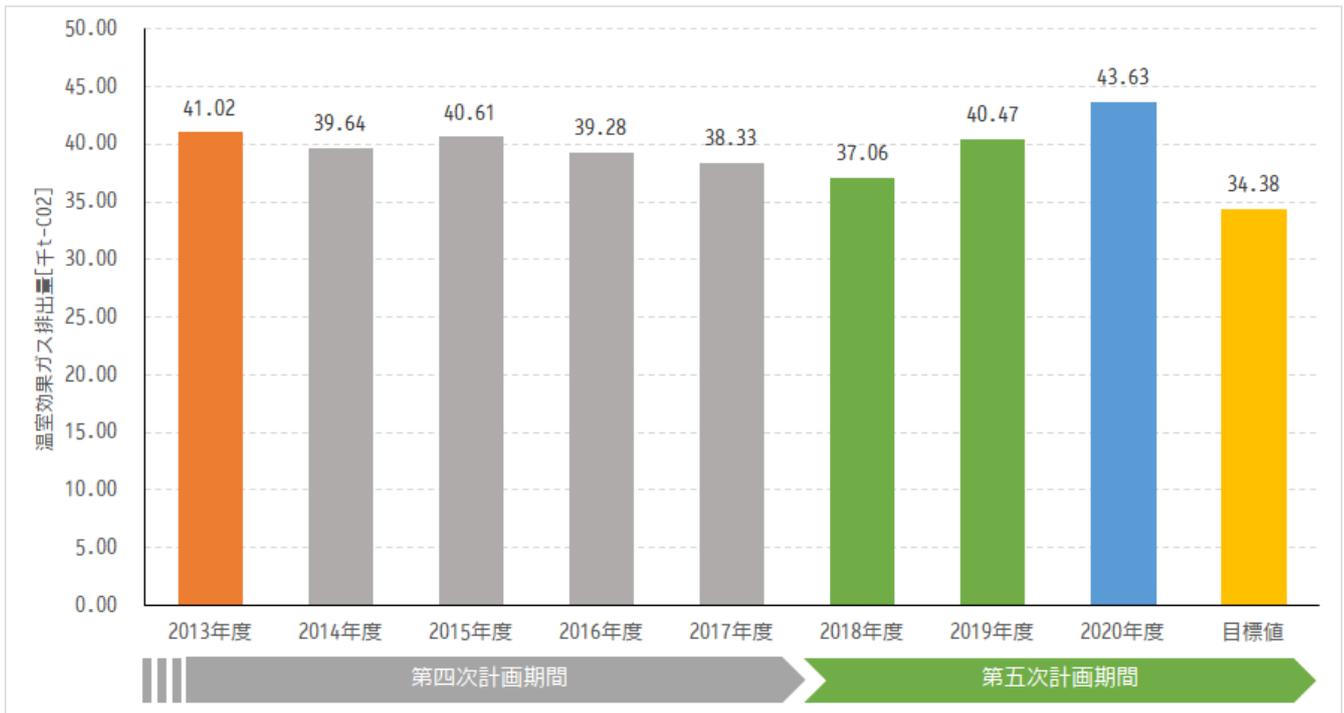
2 令和2年（2020年）度の実績

項目	単位	削減率	消費量 (活動量)								2020年度	2013年度比	達成度
			2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	目標値	2019年度	
温室効果ガス排出量	千t-CO2	16.0%	41.02	39.64	40.61	39.28	38.33	37.06	40.47	43.63	34.38	-6.35%	×
エネルギー原単位	市長部局	7.0%	0.02664	0.02597	0.02724	0.02491	0.02495	0.02439	0.02449	0.02368	0.02478	11.10%	◎
	教育委員会		0.01166	0.01175	0.00966	0.00966	0.00974	0.00925	0.00910	0.00931	0.01084	20.17%	◎
	上下水道局（上水道）		0.04137	0.03821	0.03780	0.03621	0.03667	0.03573	0.03743	0.03617	0.03847	12.55%	◎
	上下水道局（下水道）		0.03730	-	-	-	-	0.03657	0.03660	0.03467	0.03469	7.05%	○
水道使用量	m ³	7.0%	803,088	773,908	824,833	844,257	796,912	833,870	771,882	710,529	746,872	11.53%	◎
グリーン購入調達方針	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	◎

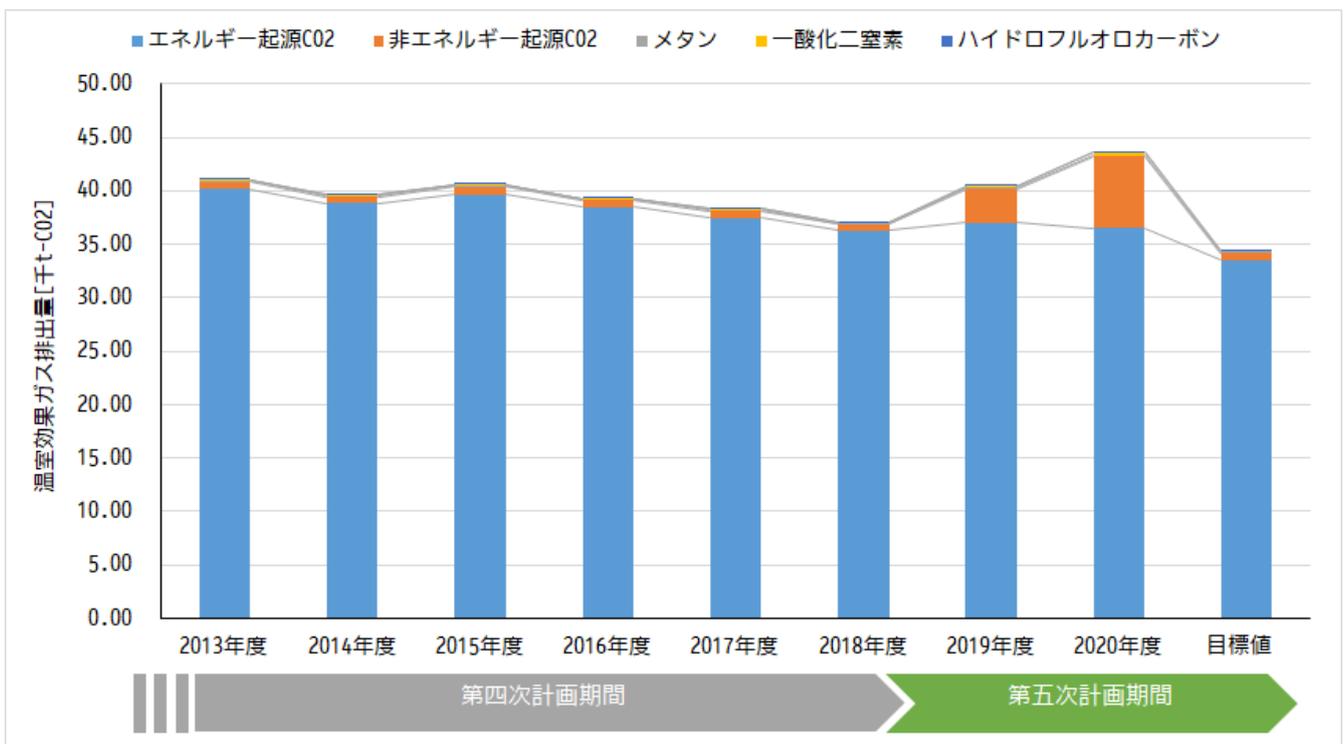
3 分析（目標未達成の要因等）と対策について

- ◆温室効果ガス排出量は、基準年度比で約6.4%増加、昨年度比で約7.8%増加となり、目標は達成できませんでした。増加になった要因として令和元年東日本台風の浸水被害による公共の災害廃棄物焼却が挙げられます。台風の影響で増加したエネルギー使用量を除いた場合は、基準年度比で約9.1%減少、昨年度比で約1.3%減少となり、目標達成には至りませんでしたが、今後においても、公共施設のLED化や省エネ等の取り組みを継続していくことが重要です。
- ◆エネルギー原単位については、基準年度比ですべての項目で7.0%以上削減となり、目標を達成しています。
- ◆水道使用量については、目標を達成しています。大幅な減少は、新型コロナウイルス感染症や令和3年2月に発生した福島県沖地震による施設の閉館に起因していることから、今後においても、取り組みを継続していくことが必要です。
- ◆グリーン購入調達方針については、毎年方針を策定し、グリーン購入を推進していることから、引き続き取り組みを続けていくことが必要です。

【温室効果ガス排出量の年次推移】



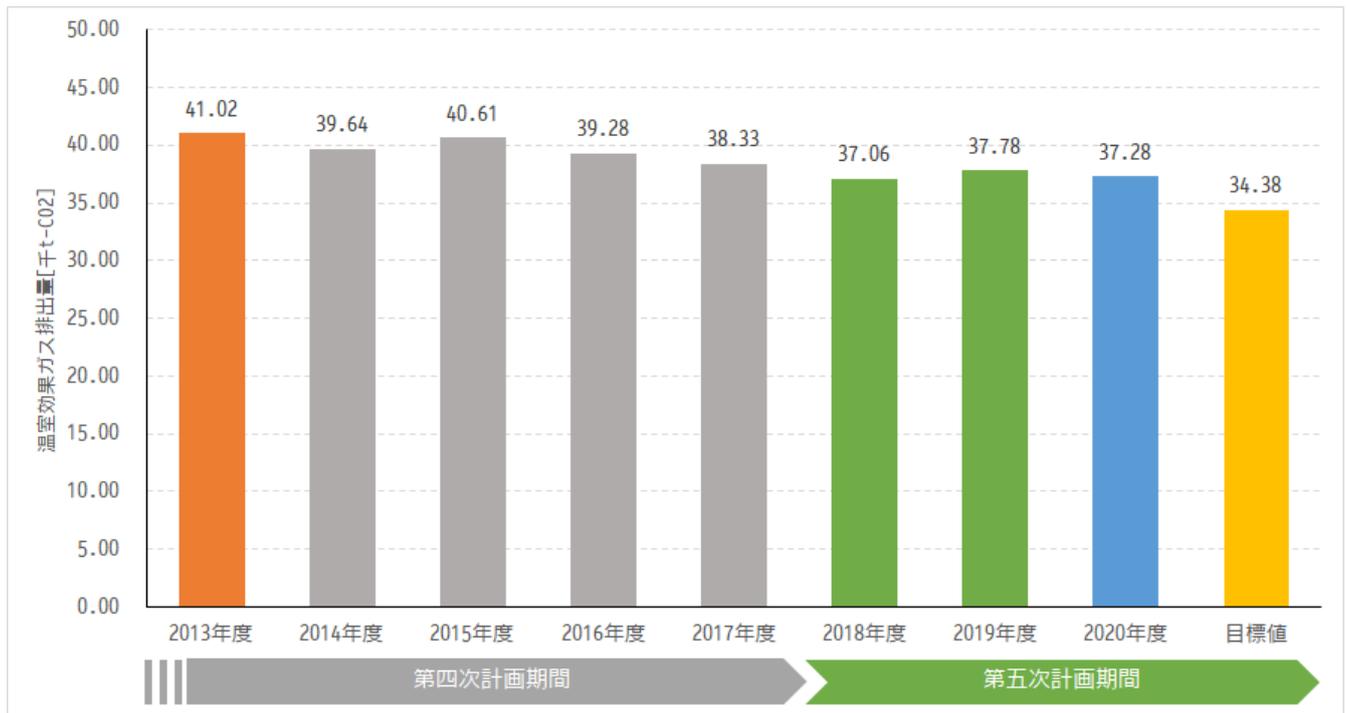
【種類別温室効果ガス排出量の年次推移】



参考 ※令和元年東日本台風の影響を除いた場合

2019年度、2020年度の非エネルギー起源CO₂を2018年度の値で算定

【温室効果ガス排出量の年次推移】



【種類別温室効果ガス排出量の年次推移】

